

FavorPrep™ GEL Purification Mini Kit

Cat. No. : FAGP1020 (4 回分) / FAGP1023 (50 回分) / FAGP1025 (200 回分) / FAGP1026 (300 回分)

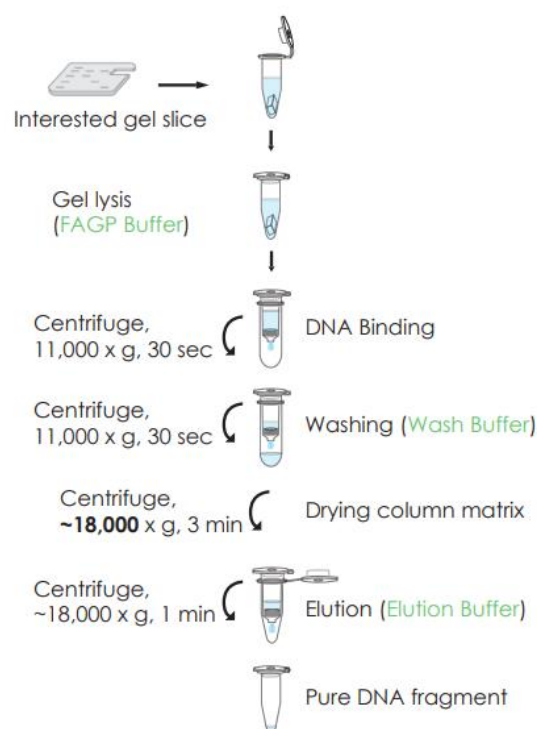
本製品は研究用です v 202505

● キットの内容

	FAGP1020 (FAGPK 000) (4 preps)	FAGP1023 (FAGPK 001) (50 preps)	FAGP1025 (FAGPK 001-1) (200 preps)	FAGP1026 (FAGPK 001-2) (300 preps)
FAGP Buffer	1.5 ml × 2	50 ml	200 ml	300 ml
Wash Buffer (Concentrated)*	1 ml	15 ml	45 ml	50 ml × 2
Elution Buffer	0.5 ml	5 ml	20 ml	20 ml
FAGP Columns	4 pcs	50 pcs	200 pcs	300 pcs
Collection Tubes	4 pcs	50 pcs	200 pcs	300 pcs
Elution Tubes	4 pcs	50 pcs	200 pcs	300 pcs
*添加する 96~100%エタノール量				
Wash Buffer	4 ml	60 ml	180 ml	200 ml

● 基本情報

構成	スピнкаラム (シリカメンブレン)
結合量	20 μ g
サンプル量	アガロースゲル: 最大 200 mg
DNA サイズ	65 bp~10 kbp
回収率	70~85%
操作時間	≤25 分
溶出量	≥20 μ l



● 重要事項

1. 本製品を使用する際は、白衣とゴム手袋を着用してください。
2. Wash Buffer は使用前にエタノール (96~100%) を加えてください。
3. 余分なゲルを切り落とし、最大 200 mg に調整してください。
4. 遠心分離は、11,000~18,000 × gで行ってください。

● **操作** ※操作前に「重要事項」をよくお読みください。

ヒント) ステップ 4 で使用するため、ドライバスまたはウォーターバスを 55℃に設定してください。

1. 清潔な器具でアガロースゲルを切り出します。
 - ・ サンプルのゲルの量を最小限にするため、余分なゲルを取り除いてください。
2. 最大 200 mg のゲルを遠心チューブ(非付属品)に移します。
 - ・ サンプル量は最大で 200 mg です。
3. サンプルの 3 倍量の FAGP Buffer を加え、ボルテックスで混和します。

例) 100 mg のサンプルに 300 μ l の FAGP Buffer を加える。

 - ・ アガロース濃度 2%以上のゲルを使用する場合は、6 倍量の FAGP Buffer を加えてください。
4. 55℃で 5～10 分間インキュベートします。ゲルが完全に溶解するまで、インキュベート中に 2～3 分毎にボルテックスしてください。
 - ・ インキュベート中にボルテックスを行うことで、ゲルの溶解を促進します。
 - ・ 次のステップに進む前に、ゲルが完全に溶解していることを確認してください。
 - ・ ゲルの溶解後、混合液が黄色になっていることを確認してください。紫色の場合は、10 μ l の 3M 酢酸ナトリウム(pH 5.0)を加え、黄色になるまで十分に混和してください。
5. 混合液を室温になるまで冷まします。FAGP Column を Collection Tube に取り付けます。
6. 最大 750 μ l の混合液を FAGP Column に移します。11,000 $\times$ g で 30 秒間遠心分離し、ろ液を捨てます。
 - ・ 750 μ l を超える場合は、残りの混合液についてもこの操作を繰り返してください。
7. 750 μ l の Wash Buffer(エタノール添加)を加えます。11,000 $\times$ g で 30 秒間遠心分離し、ろ液を捨てます。
 - ・ Wash Buffer はエタノール(96～100%)が加えられていることを確認してください。
8. 最大速度(～18,000 $\times$ g)で 3 分間遠心分離し、FAGP Column を乾燥させます。

重要! このステップで残留液を完全に除去してください。
9. FAGP Column を Elution Tube(付属品)に取り付けます。
10. ≥ 20 μ l の Elution Buffer または ddH₂O を FAGP Column のメンブレンの中央に加え、1 分間静置します。

重要! 効率よく溶出するために、Elution Buffer をメンブレンの中央に滴下し、完全に吸着させてください。

20 μ l 以下で溶出しないでください。収量が減少します。
11. 最大速度(～18,000 $\times$ g)で 1 分間遠心分離し、DNA を溶出します。

● トラブルシューティング

ゲルが溶解しない	
アガロースゲル濃度が2%以上	サンプルに対して6倍量のFAGP Bufferを添加してください。
ゲル断片が大きすぎる	ゲル断片が200 mgを超過する場合は、複数回に分けて処理してください。
低収量	
サンプル量が多い	1カラムあたり200 mg以上のゲル断片を使用しない。
DNAの溶出が不十分	Elution BufferまたはddH ₂ OのpHが7.0～8.5であることを確認してください。 遠心分離の前に、Elution BufferまたはddH ₂ Oがカラムに完全に吸着したことを確認してください。
DNA断片が5 kbより大きい	使用前にElution BufferまたはddH ₂ Oを60℃に温めてください。
溶出したDNAがnon-specific DNA断片を含む	
切り出し用器具の汚染	新しいもの、または清潔な器具を使用してください。
DNAが変性している	溶出したDNAを95℃で2分間インキュベートし、徐冷することで変性したDNAをアニーリングしてください。
精製したDNAがその後のアプリケーションで正しく機能しない	
塩が残留している	カラムをWash Bufferで2度洗浄してください。
エタノールが残留している	Wash Bufferで洗浄後、ろ液を捨て、さらに3分間遠心分離してください。